

THE KILLER WHALE TIMES

2022年度 全日本新人選手権号

皆様いかがお過ごしでしょうか。タイムス班の西海谷です。全日本新人選手権号のタイムスを発行させていただきます。今回は SNS 等でもお伝えした通り、エイトでの出場となります。



戸田での集合写真です。応援に来ていただいた OB の皆さんに感謝申し上げます。

RACE RESULTS

○男子エイト 2000mレース

C : 田鎖 (1) S : 本庄 (1) 7 : 川内 (1) 6 : 川村 (2) 5 : 岩間 (2)
4 : 山之内 (1) 3 : 西海谷 (1) 2 : 齋藤 (1) B : 小高 (1)

予選 D 組

レーン	クルー名	タイム	着順
1	小樽商科大学	7 : 19. 36	4
2	慶應義塾大学 C	6 : 48. 64	3
3	中央大学	6 : 19. 37	1
4	東京大学 A	6 : 30. 30	2

敗者復活 C 組

レーン	クルー名	タイム	着順
1	東京大学 B	6 : 5 3 . 8 3	3
2	東北大学	6 : 2 3 . 6 9	1
3	北海道大学	6 : 4 0 . 0 8	2
4	小樽商科大学	6 : 5 5 . 9 5	4



戸田での蹴り出し



戸田到着時の写真 (左)

敗者復活戦の様子 (右)

写真提供者：2009 年卒 嶋さん



リギングの様子

差し入れ紹介



高瀬鈴香さんよりいただきました。

ありがとうございます。

写真左：小高 右：川内



嶋裕子さんよりいただきました。

ありがとうございます。

写真左：川村 右：廣中

お二方には改めてお礼申し上げます。

COMMENT

○岩間 陽亮（2）

初めての戸田、初めての全国、初めてのエイトの大会と、初めてだらけでとても不安でした。先輩たちから戸田の話を知るとびびっていたが、艇庫や他のクルーをみて違いには驚きました。まだ1、2年でこんなに凄い体格をしてるのかと。自分は2年なので次、戸田に来るのはおそらくインカレだと思います。その時、それ以上の選手たちを今はまだイメージしきれません。今回自分にとって初めての2000mのレースであり、戸田という空気感を感じ取れたのは貴重な体験となりました。挑戦者という心構えを持ちながら冬練から頑張り、来年対抗に選ばれ、また戸田に戻ってきたいです。

○川村玄（2）

2年目にして初めての戸田、初めてのエイト、初めての2000mレースと、全てが新鮮な大会でした。

結果は振るいませんでしたが、得られた経験はとても大きかったです。

これを糧に冬練で強い選手になります。

○川内賢志郎（1）

日ごろの練習の成果を生かしベストを更新できましたが、勝つことはできませんでした。次回の大会に向けて頑張ってお練習していきます。

○小高亮太郎（1）

初めての全国大会、初めてのエイト出場、そして初めて見る関東の強豪校達。今回の新人戦は僕にとってたくさんの刺激あるものでした。2000mの初レースもキツかった。バウなのに全然声を飛ばさなくて役目を果たせなくて申し訳ないと思った。戸田での練習でこぎが少し変わってしまったのも残念だった。特に他大学のエイトのレベルの高さに驚いた。短力のレートの上げ方が上手すぎて鳥肌が立った。この人達と戦えるようになりたいと心の底から思った。もっと競り合った良いレースをしたいと思った。もっと勉強して冬練で強くなるとういうモチベーションを得られた大会でした。来年もエイトが良いな。

○西海谷響（1）

腰のけがもあり、ベストな状態で臨めたとは言えなかった。次回以降ベストな状態で戦えるようにコンディションを整え、勝利を目指したい。

○齋藤友悠馬（1）

ベストのパフォーマンスは出来ましたが、勝てなかったことがとても悔しいです。いつか絶対対リベンジします。どうすれば勝てるのか、よく考えてこれからの練習頑張ります！

○本庄涼（1）

初めての全国の舞台で自分の力のなさを痛感しました。敗者復活のレースが終わってすぐ、悔しさでくちびるをおもいっきり噛んでいたことを覚えています。これからその気持ちをずっと忘れずに練習を積んで、今とは違う自分になることを目指します。来年の自分がどん

な選手になっているのが楽しみで仕方がないです。次の全日本新人のゴール直後は、嬉し
さで口をおっきくあけて叫びたいと思います。

○山之内大起（1）

初めての戸田での大会でとても緊張しましたが、目標は達成できませんでしたが、自分なりに
全力を出し切ることが出来、7分カットも出来たので、とても充実した大会となりました。
来年に向けてしっかり頑張ろうと思います。

また、今回の大会出場に際して、KILLER WHALEの方々にエイトのころを新しくしてい

ただきました。漕手内でも漕ぎやすいとの意見が多く上がりました。

ありがとうございます。

懇親会の紹介

大会後に漕手とOBとで懇親会を開催いたしました。



懇親会での集合写真

お集まりいただきましたOBの方々に感謝申し上げます。

監督報告

監督報告

監督 谷津法彦(平成 5 年卒)

☆全日本新人戦(R4.10.21～23)

9/25 の北海道選手権最終日、閉会式後に早速エイトのリギング。シートは C.田鎖(1)、S.本庄(1)、7.川内(1)、6.川村(2)、5.岩間(2)、4.山之内(1)、3.西海谷(1)、2.齋藤(1)、B.小高(1)

この 9 名で 1,2 年生は全員なので交代要員がないという不安はありましたが、小艇で練習する 1 年生が居ない事で、普段なら安全監視で浮かんでいなければいけないモーターがこのエイトだけにびっちり付ける事になったのは幸いでした。運が巡ってきているような気がしたものです。

しかし故障者が出ました。3 番西海谷が直立も厳しい程の腰の不調の為、医者から 1～2 週間の安静を命じられました。一瞬レースの棄権も頭を過りましたが、この窮地を救って下さったのが北大・江川監督。何気なくこの漕手離脱の話をしたところ、北大で一人エイトに乗れなくて一人で練習してる子がいるから乗せてあげたら？との提案。早速両校同士で意思を確認して、北大 1 年生の大熊君が 3 番に乗ってくれる事になりました。北大新トレ上野君からは商大の 1 部員として扱って構わないとの有り難い申し出。全日本新人戦は混成チームが認められていますので、この時点で棄権は避けられる算段が付き、練習も再会出来ました。

しかし他にも万全でない漕手はいました。前にも書きましたが目の手術から全道選手権前日にやっと復活した山之内、膝の手術から復活した川村など、体力も落ちまくっているところで他の漕手と同じエイトで漕ぎまくる訳ですから無理がかからないはずがありません。離脱していた西海谷も奇跡的にレース 5 日前の 10/15 には復活しましたが、2 週間のブランクの直後にレースですから状態は推して知るべしです。

練習としてはセオリー通り低レートの UT15 kmで基本的な技術、持久力を養成しつつ、レース強度とスピードに慣れていく練習も取り入れていきます。どうしても 8 人で漕げない時はセブンで出したりフォアと小艇に分かれて乗艇するなど工夫して練習しました。

練習相手として北大エイトがいてくれたのも大きかったと言えます。

北大はほぼ同じメンバーで夏のオッ盾に出漕していますので、完成度は商大より数段上でした。UT でも 2,000mトライアルでも並べましたがしっかり水を開けられました。こっちが万全なら毎日並べても良かったくらいですがそれも出来ず、固定メンバーで練習を重ねていく北大エイトを歯がゆい思いで見るとはあり

ました。

本番を振り返ると、予選は最初のレースという事もあって固さが抜けなかったように思えます。レース前のウォームアップもコックスの不慣れさがあって思うように出来なかったそうです。正直 1 パイでも喰えればいいレベルかなと思っていましたが、予選は 4 クルー中 4 位。全体のタイム順では出漕全 16 クルー中 14 番目。ただやってきた事、やろうとしたことはしっかり出せたのかなと思います。漕手はやりきった感半分、もっと上手くやれた感半分といった感じでしょうか。新人戦ですから他のクルーも同じでしょうが、1 本レースを経験した事で少し吹っ切れたように見えました。

敗復は 2 位までが準決勝進出。C 組での持ちタイム 1 位の東北大、2 位の北大に何とか喰らいついていく事、最悪でも 3 位の東大 B に勝つ事しかありません。船台を蹴り出した瞬間からアップ全体を通して前日より数段いい出来で、期待を持たせました。スタートも最高の出来でしたが、コンスタントで東北、北大に徐々に出られます。しかし予選タイムで 7 秒差を付けられていた東大 B に 1 艇身のリードを保って後半へ。レートも水中も粘りに粘りましたが最後の 300m で東大にさされ、残念ながら 4 位でフィニッシュ。6 分 55 秒でこのクルー初めての 7 分切りではありました。

結局このメンバーと一緒に練習出来たスタンバイ回数はレース前も含めて 10 回あるかないかです。良くも悪くもこの時点での実力を出し切った結果かと思います。

振り返ると 6 年前の平成 28 年の全日本新人戦もエイトで出ていますが、練習期間が 2 週間ほどしか取れずに予選・敗復共に 7 分を切れず全体で最下位。翌平成 29 年の対北大戦でも何とかエイト復活しましたが故障者に加え退部希望者がいた事もあってまとまりを欠き 20 秒差の大敗。それに比べれば漕手の前向きさ、元気さ、まとまったクルーを作ろうと言う雰囲気は強く感じられました。

小樽商大がジュニアだけでエイトを組むなんてすごいですね、と戸田であるコーチの方から言われましたが、驚かれているうちはまだ本物ではないとも言えます。まずは続く事、そして勝てるエイトを作れるようになる事。後から考えるとこの年のエイトが始まりだったんだよねと言われるよう積み上げていきたいと思います。

欠員が出ている間、エイトに乗ってくれた大熊君、江川監督、新トレ上野君はじめ北大ボート部の皆様。現役部員のエイト参戦に合わせて戸田のキラーホエール V の艇備品を新品に交換・整備して下さった中井さん、小林さん、窪田さん、柳原さん、北原さん他キラーホエール RC の皆様。

3 年振り、しかも有観客で開催された今大会に駆け付けて下さった OBOG の皆様、佐藤会長、西澤さんはじめレース後の懇親会を企画・参加して下さいました皆様。そして SNS 等で遠方から声援を送って下さった多くの皆様。

この半年間の集大成として 1、2 年生を献身的にリードしてきくれた新トレ・廣中(彼女は去年も新トレでしたので、エイトメンバー全員を育てたのです)。

この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

ご意見、ご要望などございましたら下記アドレスまでお願いします

n_tanitsu@yahoo.co.jp

SPECIAL THANKS

・ 敗復レースにお越し下さった方々

佐藤敏光さん (1973 年卒)
山岸紀寛さん (1982 年卒)
中山豊彦さん (1982 年卒)
藤雄一郎さん (1984 年卒)
西澤英樹さん (1984 年卒)
石井能成さん (1986 年卒)
柳原玲智さん (1987 年卒)
窪田貴夫さん (1988 年卒)
吉岡尚さん (1997 年卒)
浪岡幹さん (2005 年卒)
折内祥平さん (2005 年卒)
藤野ゆかりさん (2006 年卒)
嶋裕子さん (2009 年卒)
大久保惇美さん (2010 年卒)
末吉祐馬さん (2020 年卒)
高瀬鈴香さん (2020 年卒)
荒井隼人さん (2021 年卒)

・ 懇親会にお越し下さった方々

佐藤敏光さん (1973 年卒)
山岸紀寛さん (1982 年卒)
中山豊彦さん (1982 年卒)
山口文生さん (1983 年卒)
藤雄一郎さん (1984 年卒)
西澤英樹さん (1984 年卒)

石井能成さん（1986年卒）
中井豊さん（1986年卒）
北原一生さん（1987年卒）
仲尾雅也さん（1998年卒）
佐藤公洋さん（1998年卒）
浪岡幹さん（2005年卒）
嶋裕子さん（2009年卒）
大久保惇美さん（2010年卒）

温かいご声援を送ってくださった皆様に感謝申し上げます。